

柳川市民文化会館開館記念事業・令和4年度柳川市民文化会館自主事業

～北原白秋没後80年～

東京混声合唱団

～北原白秋を歌う～

指揮 熊谷 弘

合唱 東京混声合唱団

混声合唱組曲「柳河風俗詩」

北原白秋の詩による童謡と民謡



柳川市民文化会館
白秋ホール（最寄り駅：西鉄柳川駅）

2022年5月30日(月)
18:30 開演 (18:00 開場)



【入場料】 未就学児は入場できません。

A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 学生(小学～高校) ¥2,000

発売日：3月19日(土) 10:00～

【チケット販売】 ●柳川市民文化会館 ●イープラス

主催 / 柳川市民文化会館自主事業実行委員会 (0944-73-7777)

後援 / 柳川市 柳川市教育委員会 柳川市文化協会 柳川市音楽家協会

制作 / (株)シンド音楽企画

… 東京混声合唱団 北原白秋を歌う …

今年は郷土の詩人北原白秋の没後80年を迎える。童謡をはじめ校歌、社歌、民謡など楽曲された曲は300曲以上といわれる。その一部を多くの人に知ってもらいたいと、今年柳川市民文化会館で事業を企画しました。演奏は、国内唯一のプロ合唱団 東京混声合唱団、指揮は久留米市出身、八女高校(筑後市)卒の熊谷弘。最高の声の響きをご家族でお楽しみください。

熊谷弘 (指揮者) Hiroshi Kumagai

1932年福岡県生まれ。指揮者を志し武蔵野音楽大学にてプリングスハイム教授のもとで作曲を学ぶ。1957年日本フィルハーモニー交響楽団に打楽器奏者として入団。1960年代にニューディレクション同人として現代音楽と積極的に取組む。傍ら指揮を渡邊暁雄氏に師事し、'70年日本フィルを退団、日本フィル特別演奏会において指揮者としてビュー。'71年より在京オーケストラの協力を得て「クラシックス・シリーズ」を開始、聴衆との接点を積極的に求めたこの企画は日本における新しい音楽会の在り方を追求したものとして話題を投げかけた。

'79年より「日本の音楽展」を主宰、第六回中島健蔵記念音楽賞優秀賞を受賞。'98年「日本の音楽展」20周年を機に、松村禎三・廣瀬量平・三善晃・佐藤敏直四氏に選考委員を依頼し、「日本の音楽展・作曲賞」を設立する。

レコード、CD、映画音楽での指揮活動も多岐に亘り、映画音楽では「砂の器」他、アニメーション音楽では三大シンフォニーと呼ばれる「交響曲キャプテン・ハーロック」「交響曲宇宙戦艦ヤマト」「交響詩銀河鉄道999」等を指揮。合唱組曲「宇宙戦艦ヤマト」では、日本コロムビアよりゴールドディスク賞を受賞。

'81より熊谷の提唱による演奏会「第九と皇帝」を開始し、'89年、楽壇トップ奏者によるシンフォニーオーケストラ「グレートアーティスト」(13年よりクラシックスフィルハーモニー交響楽団に改名)を結成、以来、同オーケストラを毎年指揮し、多くのファンに支持されている。現在、指揮活動の他、コンサートのプロデュースやミュージックディレクター等務めている。

東京混声合唱団 The Philharmonic Chorus of Tokyo

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。現在桂冠指揮者を務める田中信昭によって創設された。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間約150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ・ラジオへの出演を行っている。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた200曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団や青少年との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。

文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都芸術賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。

プログラム

混声合唱組曲「柳河風俗詩」より

1. 柳河
2. 紺屋のおろく
3. かきつばた
4. 梅雨の晴れ間

北原白秋の詩による童謡と民謡

童謡 信長高富 編曲 — 赤い鳥小鳥～北原白秋童謡詩集 (混声合唱とピアノのための) より —

揺籃 (ゆりかご) のうた、栗鼠・栗鼠・小栗鼠、兎の電報、赤い鳥小鳥
すかんぼの咲くころ、アメフリ、かえろかえろと、砂山

民謡 ちゃつきり節、松島音頭

林光 編曲 混声合唱による日本抒情歌曲集

この道、ペチカ、曼珠沙華、かやの木山の、城ヶ島の雨、からたちの花
ちんちん千鳥、待ちぼうけ